



## 環境経済・政策学会 2010年大会

9月11日(土)～12日(日)

会場 名古屋大学東山キャンパス 工学部 IB 電子情報館、2号館、3号館  
(主催) 環境経済・政策学会、(共催) 名古屋大学大学院環境学研究科

### 公開シンポジウム

「環境経済・政策学から見た生物多様性条約 COP と日本の戦略」

9月12日(日) 13:30～17:00

会場 名古屋大学東山キャンパス 経済学部カンファレンスホール  
(主催) 環境経済・政策学会、名古屋大学大学院環境学研究科



## 表紙写真の紹介

### 左上 愛知県の花「カキツバタ」

在原業平朝臣が現在の知立市八橋を訪れたとき、そのあたりの花の美しさに旅情をなぐさめ、カキツバタの5字を詠み込んでうたった（伊勢物語）と伝えられています。昭和29年に「愛知県の花」に選定されました。

### 右上 愛知県の木「ハナノキ」

ハナノキは、愛知県を中心とする中部地方にのみ自生するカエデ科の落葉樹です。北設楽郡豊根村の茶臼山山麓にある「川宇連のハナノキ自生地」は国の天然記念物に指定されています。昭和41年に「愛知県の木」に選定されました。

### 左中下 愛知県の鳥「コノハズク」

コノハズクは、アジアやアフリカ、ヨーロッパに分布するフクロウ科の渡り鳥で「声のブッポウソウ」の別名をもちます。旧南設楽郡鳳来町（現新城市）はその鳴き声の名所として有名です。昭和40年に「愛知県の鳥」に選定されました。

### 右中下 絶滅危惧種(魚)「イタセンパラ」

イタセンパラは、日本固有種の魚で、淀川水系・富山平野・濃尾平野の3か所に離れて分布しています。個体数が減少しており絶滅が危惧されています。淀川水系から5年前に姿を消しましたが本年復活したことで話題になりました。「イタセンパラ」の由来は濃尾平野でのローカル呼称で「板のように平たい体形で、色鮮やかな腹部をもつ魚」の意味、つまり「板鮮腹」だとされています。ちなみに、「愛知県の魚」はクルマエビです。愛知県民は海老フライでお世話になっています。

### 下 ラムサール条約登録湿地「藤前干潟」

藤前干潟は、愛知県名古屋市港区と海部郡飛島村にある貴重な残された干潟です。シギ・チドリ類などの渡り鳥の飛来地として有名で、2002年11月にラムサール条約の登録地になりました。名古屋市は、ごみの焼却灰などの処分地建設のために、人工干潟の造成を条件に、干潟の埋め立てを計画しました。しかし、藤前干潟を守る市民の運動が高まったことなどから、1999年、名古屋市はごみの埋立処分場建設を断念すると同時に、「ごみ非常事態宣言」を発し、市民によるごみの分別が徹底されるようになりました。

## 環境経済・政策学会 2010 年大会スケジュール

	分科会 1	分科会 2	分科会 3	分科会 4	分科会 5	分科会 6
会場	9月11日 午前(1)	9月11日 午前(2)	9月11日 午後(1)	9月11日 午後(2)	9月12日 午前(1)	9月12日 午前(2)
A会場	地球温暖化 -ポスト 2012(1)	地球温暖化 -ポスト 2012(2)	温暖化-国 内政策(1)	地球温暖化 -ポスト 2012(3)	企画(10)気候変動:今 後の国際協調の行方	
B会場	地球温暖化 -データ 分析(1)	地球温暖化 -データ 分析(2)	企画(4)温室効果ガス排 出量削減の経済モデル 分析	地球温暖化 -データ 分析(3)	予備	
C会場	排出権取引 (1)	地球温暖化 -日本への 影響	企画(5)国内排出量取引 の制度設計:定量分析に よるアプローチ	企画(11)カーボン・オフセ ット政策の評価と今後の 可能性~森林吸収源・ 林業・地域活性化~		
D会場	再生可能エ ネルギーと 地域(1)	再生可能エ ネルギーと 地域(2)	企画(6)エネルギー自立 地域の形成と地域主体 形成	温暖化- 国内政策 (2)	温暖化- 国内政策 (3)	
E会場	環境評価(1)	環境評価(2)	LCA・ラベリ ング	環境評価(3)	環境評価(4)	環境評価(5)
F会場	企画(1)水環境政策の経 済評価と経済的手段の適 応可能性		企画(7)環境評価チュート リアル:最新テクニックと 分析の実際		温暖化- 低炭素政 策	温暖化- 理論・モデ ル分析
G会場	CSR(1)	CSR(2)	環境資源 勘定・環境 指標(1)	環境資源勘 定・環境指 標(2)	環境マネジ メントシス テム(1)	環境マネジ メントシス テム(2)
H会場	予備	予備	廃棄物政 策の計量評 価	廃棄物-処 理と費用	リサイクル 政策(1)	リサイクル 政策(2)
I会場	企画(2)東アジアの環境 賦課金制度		企画(8)グローバル時代 における東アジアの環境 ガバナンス		再生可能エ ネルギー政 策(1)	再生可能エ ネルギー政 策(2)
J会場	アジア・途上 国(1)	アジア・途上 国(2)	アジア・途 上国(3)	国際資源循 環	アジア・途 上国(4)	アジア・途 上国(5)
K会場	流域管理(1)	流域管理(2)	流域管理(3)	地域と環境(1)	予備	地域と環境 (2)
L会場	企画(3)“エコ・ウェルス” 創出のシナリオ		企画(9)生物多様性の経 済学的分析		コモンズ(1)	予備
M会場	温暖化と企 業	地球温暖化 -中国	環境経済 理論-モデ ル分析(1)	環境経済理 論-環境と 経済成長	環境経済 理論-モデ ル分析(2)	環境経済 理論-モデ ル分析(3)
N会場	農業・食料(1)	農業・食料(2)	環境ガバナ ンス(1)	環境ガバナ ンス(2)	環境ガバナ ンス(3)	環境ガバナ ンス(4)
O会場	自然保護	排出権取引 (2)	アジア・途 上国-デー タ分析	水産資源管 理	生物多様 性(1)	生物多様 性(2)

## 環境・経済政策学会 2010 年大会 の全体スケジュール

### 9 月 11 日(土)

- 08:00～ 受付 (IB 電子情報館 1 階)
- 09:00～10:20 分科会 1 (A～O 会場)2 報告 80 分
- 10:30～11:50 分科会 2 (A～O 会場)2 報告 80 分
- 11:50～12:50 昼休み
- 12:50～13:20 学会賞表彰式 (IB 電子情報館 2F IB 大講義室)
- 13:20～14:00 学会総会 (IB 電子情報館 2F IB 大講義室)
- 14:00～16:00 分科会 3 (A～O 会場)3 報告 120 分
- 16:10～18:10 分科会 4 (A～O 会場)3 報告 120 分
- 18:30～21:00 懇親会 (名古屋大学南部生協)

### 9 月 12 日(日)

- 08:30～ 受付 (IB 電子情報館 1 階)
- 09:00～11:00 分科会 5 (A～O 会場)3 報告 120 分
- 11:10～12:30 分科会 6 (A～O 会場)2 報告 80 分
- 12:30～13:30 昼休み
- 13:30～17:00 公開シンポジウム (経済学部カンファレンスホール)

9 月 11 日(土)午後、IB 情報館 1 階通路(プレゼンテーションスペース)にて、環境学研究科のパネル展示を開催します。

#### 大会事務局

名古屋大学大学院環境学研究科内  
環境・経済政策学会 2010 年大会実行委員会  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
学会ウェブサイト  
<http://www.soc.nii.ac.jp/seeps/>

## 公開シンポジウム

### 「環境経済・政策学から見た生物多様性条約 COP10 と日本の戦略」

○開催日時：2010年9月12日（日）13:30－17:00

○開催場所：名古屋大学東山キャンパス 経済学部カンファレンスホール  
（名城線名古屋大学駅1番出口より徒歩3分）

○主催：環境経済・政策学会、名古屋大学環境学研究科

#### ○趣旨

国連の定めた2010年生物多様性年を迎え、また本年10月に愛知県名古屋市で生物多様性条約のCOP10が開催されることもあり、生物多様性への関心が国内で急速に高まっています。生物多様性の損失をもたらす原因は人間の活動が主な要因であり、その影響が過去50年くらいの中に飛躍的に高まり、世界中の多くの地域で生物多様性の損失が深刻な課題となっています。本シンポジウムにおいては、生物多様性の保全と持続可能な利用について、グローバルな問題から市民の日常生活まで生活のレベルまでのさまざまな社会経済活動の中に組み込んでいく「生物多様性の主流化」の達成に関して、著名な研究者を海外より招聘し、基調講演頂くとともに、環境経済・政策学の役割と日本の戦略についての議論を行います。

#### ○プログラム

13:30- 開会挨拶：名古屋大学理事 宮田隆司教授

13:40- 基調講演 & 質疑（逐語通訳）

Prof. Edward B. Barbier(University of Wyoming)

「自然資産としての生態系 Ecosystems as Natural Assets」

14:50- 休憩

15:20- パネルディスカッション & 討論

・コーディネーター：井村秀文特任教授（名古屋大学環境学研究科）

・海外招聘者：Prof. Edward B. Barbier (University of Wyoming)

・栗山浩一教授（京都大学）

・林希一郎教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）

・黒田大三郎環境省参与

16:50- 閉会挨拶：環境経済・政策学会会長 細田衛士教授（慶応義塾大学）

# 環境経済・政策学会 2010 年大会

9 月 11 日(土) 午前(1) 9:00-10:20

## A1 地球温暖化－ポスト 2012(1) 座長:植田和弘(京都大学)

- 1 京都議定書の第一約束期間と第二約束期間の間の制度の空白への対処方策に関する法的検討  
○高村ゆかり(龍谷大学)  
討論者:水野勇史(地球環境戦略研究機関)
- 2 なぜ 25%削減なのか－究極目標についての日本案の策定と世界への発信－  
○山口光恒(東京大学)  
討論者:植田和弘(京都大学)

## B1 地球温暖化－データ分析(1) 座長:藤野純一(国立環境研究所)

- 1 気候変動についてのリスク認知とリスク・リテラシー  
○栗林敦子(ニッセイ基礎研究所)  
討論者:町田航(地球環境戦略研究機関)
- 2 全世界の家庭部門のエネルギー消費量推計手法の提案と適用  
○金森有子((独)国立環境研究所)・松岡譲(京都大学大学院)  
討論者:藤野純一(国立環境研究所)

## C1 排出権取引(1) 座長:西條辰義(大阪大学)

- 1 Optimal CO2 Credits Trading Using REDD Program  
○澤田英司(慶應義塾大学)・大沼あゆみ(慶應義塾大学)  
討論者:持田亮(九州大学)
- 2 豪州の排出権取引制度の動向と課題－炭素リーケージ対策の考え方  
○金星姫((財)日本エネルギー経済研究所)  
討論者:西條辰義(大阪大学)

## D1 再生可能エネルギーと地域(1) 座長:倉阪秀史(千葉大学)

- 1 都市域における再生可能エネルギーの導入可能性－千葉市を事例として－  
○倉阪秀史(千葉大学)・馬上文司(千葉大学)・関口智久(千葉大学)・吉田浩平(千葉大学)  
討論者:松本奈穂子(地球環境戦略研究機関)
- 2 The potential of biofuel production from urban wastes to contribute to a sound material cycle society－Case studies on construction and food waste－  
○松本奈穂子(地球環境戦略研究機関)・佐野大輔(地球環境戦略研究機関)  
討論者:倉阪秀史(千葉大学)

## E1 環境評価(1) 座長:佐藤真行(京都大学)

- 1 持続性評価と地域開発計画  
相良敬(環境エネルギー政策研究所)・○土田恵理子(環境エネルギー政策研究所)・飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)  
討論者:佐藤真行(京都大学)
- 2 商業施設におけるエネルギーモニタリングと省エネルギー提案  
○小西洋紀(早稲田大学)・荻野大介(早稲田大学)・小野田弘士(早稲田大学環境総合研究センター)・永田勝也(早稲田大学)  
討論者:松八重一代(東北大学)

**F1 企画(1)水環境政策の経済評価と経済的手段の適応可能性**  
座長:栗山浩一(京都大学) 討論者:佐藤祐一(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

- 1 **イントロダクション**  
○栗山浩一(京都大学)
- 2 **海外における経済的手段の適用事例**  
○西澤栄一郎(法政大学)
- 3 **水環境政策の経済分析モデル**  
○田中勝也(滋賀大学)
- 4 **水質取引の経済実験**  
○吉田友美(京都大学)

**G1 CSR(1)**  
座長:島田幸司(立命館大学)

- 1 **日本企業のGHG情報開示の課題とその要因**  
○荻巣和紀(京都大学)  
討論者:島田幸司(立命館大学)
- 2 **CSR報告書と地球温暖化問題**  
○山崎真理子(明治大学大学院)・相良敬(環境エネルギー政策研究所)・  
飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)  
討論者:荻巣和紀(京都大学)

**I1 企画(2)東アジアの環境賦課金制度**  
座長:李秀澈(名城大学) 討論者:吉田文和(北海道大学)・森晶寿(京都大学)・  
有村俊秀(上智大学)

- 1 **東アジアの環境賦課金制度－制度進化の条件と課題**  
○李秀澈(名城大学)
- 2 **中国の汚染賦課金制度**  
○櫻井次郎(名古屋大学)
- 3 **韓国の環境賦課金制度の体系と政策効果**  
○朴勝俊(京都産業大学)
- 4 **台湾の汚染賦課金制度**  
○陳禮俊(山口大学)
- 5 **東アジアの廃家電リサイクル制度－EPRとリサイクル賦課金**  
○羅星仁(広島修道大学)

**J1 アジア・途上国(1)**  
座長:金子慎治(広島大学)

- 1 **中国における二酸化炭素の排出に関する研究**  
○王磊(北海道大学)  
討論者:金子慎治(広島大学)
- 2 **日中製造業における環境配慮型経営の影響要因に関する比較研究**  
○孫穎(国立環境研究所)・森晶寿(京都大学)・渡邊雅士(内閣官房)・藤田壮(国立環境研究所)  
討論者:知足彰弘(立命館大学)

**K1 流域管理(1)**  
座長:大塚健司(アジア経済研究所)

- 1 **メコン河流域開発と持続的経済発展**  
○仲上健一(立命館大学)・濱崎宏則(立命館大学)・野中淳子(立命館大学)  
討論者:大塚健司(アジア経済研究所)

**L1 企画(3)“エコ・ウェルス”創出のシナリオ**  
座長:荒山裕行(名古屋大学) 討論者:林希一郎(名古屋大学)

- 1 水素社会のバリューチェーン:移動とコミュニケーションの自由  
○広瀬雄彦(九州大学)
- 2 生物多様性と環境保全に向けたバリューチェーン  
○服部徹(アースデイ・エブリデイ)
- 3 グリーン・ニューディール:エコ・ウェルス創出にむけた“環境経済政策”の役割  
○渡邊聡(名古屋大学)・荒山裕行(名古屋大学)

**M1 温暖化と企業**  
座長:一方井誠治(京都大学)

- 1 企業における温室効果ガス削減費用計算の基本モデル  
○一方井誠治(京都大学)・栗田郁真(京都大学)・堀勝彦(京都大学)  
討論者:増井利彦(国立環境研究所)
- 2 An empirical study of the firm's environmental management implementation on environmental performances  
○西谷公孝(広島大学)・金子慎治(広島大学)・藤井秀道(東北大学)・小松悟(広島大学)  
討論者:一方井誠治(京都大学)

**N1 農業・食料(1)**  
座長:青柳みどり(国立環境研究所)

- 1 バイオマスプラスチックの普及が世界の食料不安に及ぼす影響の長期評価  
○棟居洋介(東京工業大学)・増井利彦(国立環境研究所)  
討論者:米澤健一(国立環境研究所)
- 2 長期的人口変動と資源利用に着目したインドの食料生産の持続可能性の評価  
○関戸一平(東京大学)・川島博之(東京大学)  
討論者:藤栄剛(滋賀大学)

**O1 自然保護**  
座長:諸富徹(京都大学)

- 1 日本における自然の損害に対する賠償制度について  
○桑名謹三(法政大学サステナビリティ研究教育機構)  
討論者:山川俊和(一橋大学)
- 2 自然保護問題の「環境コスト」とその負担構造—知床半島・斜里町を中心に—  
○藤谷岳(一橋大学)・藤井康平(東京大学)・山川俊和(一橋大学)  
討論者:諸富徹(京都大学)



---

9月11日(土) 午前(2) 10:30-11:50

---

**A2 地球温暖化—ポスト2012(2)**

座長: 亀山康子(国立環境研究所)

1 排出削減の誓約の分析: 共通算定枠組みの必要性

○木村ひとみ(大妻女子大学)

討論者: 亀山康子(国立環境研究所)

2 気候変動への適応策の制度設計に関する研究

○森田香菜子(国立環境研究所)

討論者: 木村ひとみ(大妻女子大学)

**B2 地球温暖化—データ分析(2)**

座長: 竹内恒夫(名古屋大学)

1 リーフロッキングのエネルギー及び炭素強度への分解

—コペンハーゲン合意における新興国の目標設定におけるグリーン成長戦略—

○町田航(地球環境戦略研究機関)・西岡秀三(地球環境戦略研究機関)

討論者: 秋元圭吾(地球環境産業技術研究機構)

2 高度工業地域のCO<sub>2</sub>フットプリント—愛知県とRuhr地方(ドイツ)の比較—

○杉山範子(名古屋大学)・竹内恒夫(名古屋大学)

討論者: 後藤尚弘(豊橋技術科学大学)

**C2 地球温暖化—日本への影響**

座長: 鷲田豊明(上智大学)

1 排出量取引制度が日本企業の国際競争力に与える影響の緩和策の分析

○明日香壽川(東北大学)・盧向春(東北大学)・金本圭一朗(東北大学)

討論者: 鷲田豊明(上智大学)

2 応用一般均衡モデルによる温暖化被害と適応の推計—農林業分野—

○鷲田豊明(上智大学)

討論者: 武田史郎(関東学園大学)

**D2 再生可能エネルギーと地域(2)**

座長: 倉阪秀史(千葉大学)

1 低炭素社会構築のための「地域資源」把握手法の開発

○松野正太郎(名古屋大学)・竹内恒夫(名古屋大学)・杉山範子(名古屋大学)

討論者: 谷川寛樹(名古屋大学)

2 地域間連携による再生可能エネルギーの統合的活用のための社会モデル構築  
社会モデル構築を支援する実現のための統合事業化モデル

○仁平裕之(環境エネルギー政策研究所)・松原弘直(環境エネルギー政策研究所)・

飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)

討論者: 松野正太郎(名古屋大学)

**E2 環境評価(2)**

座長: 佐藤真行(京都大学)

1 消費者の知識と情報への反応に関する実証分析

○村上佳世(京都大学)

討論者: 大床太郎(神戸大学)

2 尾瀬ガイドツアーに係る旅行者の選好分析

○大床太郎(神戸大学)・荒井裕二(群馬県立尾瀬高校)・柘植隆宏(甲南大学)・庄子康(北海道大学)

討論者: 井元智子(統計数理研究所)

**F2 企画(1)水環境政策の経済評価と経済的手段の適応可能性(つづき)**

## G2 CSR(2)

座長:島田幸司(立命館大学)

### 1 日本の輸送機器メーカーの収益性と環境経営

○川瀬友太(関西大学)・島田幸司(立命館大学)・天野耕二(立命館大学)

討論者:一方井誠二(京都大学)

### 2 Analysis on the SRI Fund Performance

○伊藤豊(東北大学大学院)・馬奈木俊介(東北大学大学院)・松田あきみ(野村證券株式会社)

討論者:竹内憲司(神戸大学)

## I2 企画(2) 東アジアの環境賦課金制度(つづき)

## J2 アジア・途上国(2)

座長:小島道一(アジア経済研究)

### 1 中国山東省における水汚染新基準と生態補償制度

ー南水北調東線プロジェクトとの関連からー

李天宏(北京大学環境科学・工程学院)・○知足章宏(立命館大学国際関係学部)・

劉哲(北京大学環境科学・工程学院)

討論者:小島道一(アジア経済研究)

### 2 中国における都市生活污水处理の資金構造

○宋国君(中国人民大学環境政策・環境規画研究所)・知足章宏(立命館大学国際関係学部)・

韓冬梅(中国人民大学環境政策・環境規画研究所)

討論者:大塚健司(アジア経済研究所)

## K2 流域管理(2)

座長:角田季美枝(高崎経済大学)

### 1 水運文化の伝承を通じた流域連携の再生:保津川筏復活プロジェクトを事例に

○原田禎夫(大阪商業大学)

討論者:吉田央(東京農工大学農学府)

### 2 流域・流域圏研究の主要文献サーヴェイからみた政策研究と実践の緊張関係

○角田季美枝(高崎経済大学)

討論者:高橋卓也(滋賀県立大学)

## L2 企画(3) “エコ・ウェルス”創出のシナリオ(つづき)

## M2 地球温暖化ー中国

座長:松下和夫(京都大学)

### 1 中国の自主目標の意義とポスト京都への展望

○周瑋生(立命館大学政策科学部)

討論者:松下和夫(京都大学)

### 2 中国の低炭素社会構築戦略に関する研究

○李志東(長岡技術科学大学)

討論者:周瑋生(立命館大学)

## N2 農業・食料(2)

座長:棟居洋介(東京工業大学)

### 1 農村の環境・土地管理対策の政策枠組みに関する日欧比較

○米澤健一(国立環境研究所)・青柳みどり(国立環境研究所)

討論者:関戸一平(東京大学)

## O2 排出権取引(2)

座長:新澤秀則(兵庫県立大学)

### 1 欧州排出権取引制度における京都クレジットの利用に関する一考察

○田上貴彦(日本エネルギー経済研究所)

討論者:新澤秀則(兵庫県立大学)

### 2 Emissions Trading and Regional Inequality

○高塚創(香川大学)・中村良平(岡山大学)

討論者:内藤徹(徳島大学)

---

9月11日(土) 午後(1) 14:00-16:00

---

**A3 温暖化—国内政策(1) 座長:松本泰子(京都大学)**

**1 低炭素社会の経済と不経済**

○室田武(同志社大学)  
討論者:松下和夫(京都大学)

**2 低炭素社会に向けての日本モデルの構築と国際貢献(参議院調査会報告より)**

○杉本勝則(参議院第一特別調査室)  
討論者:室田武(同志社大学)

**B3 企画(4)温室効果ガス排出量削減の経済モデル分析 座長:植田和弘(京都大学)**

**1 KEO モデル**

○野村浩二(慶應義塾大学)

**2 RITE モデル**

○秋元圭吾(RITE)

**3 エネ研モデル**

○末広茂(日本エネルギー経済研究所)

**4 日経マクロ**

○猿山純夫(日本経済研究センター)

**5 日経 CGE**

○川崎泰史(日本経済研究センター)・武田史郎(関東学園大学)

**6 AIM モデル**

○増井利彦(国立環境研究所)

**7 伴モデル**

○伴金美(大阪大学)

**C3 企画(5)国内排出量取引の制度設計:定量分析によるアプローチ 座長:有村俊秀(上智大学)  
討論者:岡川梓(国立環境研究所)・鄭雨宗(福岡工業大学)・高尾克樹(立命館大学)**

**1 国内排出量取引制度の現状と論点**

○河村玲央(環境省)

**2 排出量取引における国際競争力配慮に関する研究**

○杉野誠(上智大学)・有村俊秀(上智大学)・D.Morgenstern(Resources for the Future)

**3 応用一般均衡モデルによる排出規制に伴う国境税調整の分析**

武田史郎(関東学園大学)・○堀江哲也(上智大学)・有村俊秀(上智大学)

**4 国内排出量取引の制度設計提案~WWF ジャパンとの共同研究プロジェクト成果~**

○諸富徹(京都大学)・兒山真也(兵庫県立大学)・清水雅貴(横浜国立大学)・  
鈴木靖文(ひのでエコライフ研究所)・東愛子(京都大学)・藤川清史(名古屋大学)

**5 各国排出権市場の国際リンクの経済分析**

○武田史郎(関東学園大学)・杉野誠(上智大学)・有村俊秀(上智大学)

**D3 企画(6)エネルギー自立地域の形成と地域主体形成 座長:堀尾正毅(科学技術振興機構)**

**1 地域資源を活用したエネルギー自立地域の形成と地域主体形成**

○堀尾正毅(科学技術振興機構)

**2 小水力を核とした脱温暖化の地域主体形成**

○上坂博亨(富山国際大学)・駒宮博男(地域再生機構)

**3 中山間地域に人々が集う脱温暖化の『郷』づくりと主体形成**

○笠松浩樹(島根県中山間地域研究センター)・藤山浩(島根県中山間地域研究センター)

**4 地域力による脱温暖化と未来の街づくり、主体形成**

○天谷賢児(群馬大学)・宝田恭之(群馬大学)

**5 持続可能な流域づくりに向けた主体形成**

○島谷幸宏(九州大学)・桑子敏雄(東京工業大学)

**6 地域主体形成のプロセスとその手法・方法の整理**

○小林久(茨城大学)

### E3 LCA・ラベリング 座長:森口祐一(国立環境研究所)

- 1 日本におけるライフサイクル CO2 排出量の構造経路分解  
○尾下優子(九州大学)・加河茂美(九州大学)  
討論者:森口祐一(国立環境研究所)
- 2 LCAによる北海道でのバイオガスプラント導入の環境・経済評価  
○矢部暢子(北海道大学大学院)  
討論者:南斉規介(国立環境研究所)
- 3 新しい宇宙太陽発電衛星の CO2 負荷ーマルチバステザー型 SPSー  
○朝倉啓一郎(流通経済大学)・中野諭(労働政策研究・研修機構)  
討論者:尾下優子(九州大学)

### F3 企画(7)環境評価チュートリアル:最新テクニックと分析の実際 座長:庄子康(北海道大学)

- 1 経済実験の実際(z-tree の使い方)  
○栗山浩一(京都大学)・三谷羊平(コロラド大学)
- 2 コンジョイント分析の実際(GAUSS の使い方)  
○柘植隆宏(甲南大学)
- 3 ヘドニック法の最先端(空間ヘドニック法)  
○星野匡郎(東京工業大学)

### G3 環境資源勘定・環境指標(1) 座長:中野桂(滋賀大学)

- 1 ブータンのGNH(Gross National Happiness:国民総幸福)の算出手法とHSM(Human Satisfaction Measure:人間満足度尺度)Ver.6の開発  
○大橋照枝(麗澤大学)  
討論者:佐藤真行(京都大学)
- 2 持続可能性の国際依存:日本および資源輸出国のジェニユインセイビング指標に着目して  
○佐藤真行(京都大学)・サムレト・ソワンルン(京都大学)・山口臨太郎(京都大学)  
討論者:中野桂(滋賀大学)
- 3 廃自動車スクラップ再資源化に伴うレアメタルのフロー  
○松八重一代(東北大学)・大野肇(東北大学)・平木岳人(東北大学)・中島謙一(国立環境研究所)・長坂徹也(東北大学)  
討論者:外川健一(熊本大学)

### H3 廃棄物政策の計量評価 座長:碓井健寛(創価大学)

- 1 産業廃棄物の広域移動に関するパネルデータ分析  
○笹尾俊明(岩手大学)  
討論者:新熊隆嘉(関西大学)
- 2 Estimating Garbage Reduction and Recycling Promotion under Unit-based Pricing: - An Application of the Multivariate Sample Selection Model  
諏訪竜夫(北海道大学)・○碓井健寛(創価大学)  
討論者:笹尾俊明(岩手大学)
- 3 Substitutability of Recyclable Materials: An Empirical Analysis of Export Demand  
一ノ瀬大輔(東北公益文科大学公益学部)・東田啓作(関西学院大学経済学部)・  
○新熊隆嘉(関西大学経済学部)・小島道一(アジア経済研究所)  
討論者:碓井健寛(創価大学)

### I3 企画(8)グローバル時代における東アジアの環境ガバナンス 座長:松岡俊二(早稲田大学) 討論者:寺西俊一(一橋大学)・柳下正治(上智大学)・森晶寿(京都大学)

- 1 グローバル化と東アジアの環境協力制度の形成と発展  
○松岡俊二(早稲田大学)・Lee Alice park(早稲田大学)
- 2 欧州における地域環境制度の形成と発展  
○青正澄(横浜市立大学)
- 3 国際環境条約の批准行動と環境質改善の実証分析  
○金柔美(早稲田大学)・田中勝也(滋賀大学)
- 4 アジアの国際環境協力と環境クズネツ曲線  
○松本礼史(日本大学)

### J3 アジア・途上国(3) 座長:白川博章(名古屋大学)

- 1 **Willingness-to-Pay for Components of Biodiversity and its Conservation Activities – Cases of the Philippines and Mongolia**  
渡邊幹彦(名古屋大学)・O Teodoro Lugo LICARTE(Nagoya University)・ARONGNA(Nagoya University)  
討論者:中田実(名古屋大学)
- 2 **Decomposition analysis of embodied water requirements of households in Beijing**  
O Latdaphone Banchongphanith(広島大学)・金子慎治(広島大学)  
討論者:白川博章(名古屋大学)

### K3 流域管理(3) 座長:奥田隆明(名古屋大学)

- 1 **黄河流域における水利権取引の応用一般均衡分析**  
O 奥田隆明(名古屋大学)・倪誠蔚(雲南省科学技術情報研究院)  
討論者:萩元徹(オレゴン州立大学)
- 2 **湖沼への窒素およびリン流出対策 最適な水質排出取引**  
O 萩元徹(オレゴン州立大学)  
討論者:田中勝也(滋賀大学)
- 3 **流域管理のための費用分担の理論的根拠**  
O 吉田央(東京農工大学農学研究院)  
討論者:高橋卓也(滋賀県立大学)

### L3 企画(9)生物多様性の経済学的分析 座長:馬奈木俊介(東北大学) 討論者:香坂玲(名古屋市立大学)

- 1 **多様性及び温暖化における時間一空間的な割引の評価**  
馬奈木俊介(東北大学)、O 鶴見哲也(東京大学)
- 2 **生態系サービスに関する生産性分析**  
O 蒲谷景(地球環境戦略研究機関)、馬奈木俊介(東北大学)
- 3 **CGEを用いた政策影響評価**  
O 小嶋公史(地球環境戦略研究機関)
- 4 **生態系サービスの経済価値評価**  
栗山浩一(京都大学)・O 吉田謙太郎(長崎大学)

### M3 環境経済理論—モデル分析(1) 座長:細田衛士(慶應義塾大学)

- 1 **資源制約下における環境汚染規制機関の執行手段選択(数理モデル分析)**  
O 大久保和宣(京都大学)  
討論者:細田衛士(慶應義塾大学)
- 2 **Intergenerationally equitable discounting and its implications for climate policy**  
O 阪本浩章(京都大学)  
討論者:羅星仁(広島修道大学)
- 3 **廃棄物処理における2種類の情報の非対称性に関する研究**  
O 一ノ瀬大輔(東北公益文科大学)・細田衛士(慶應義塾大学)  
討論者:坂上紳(慶應義塾大学)

### N3 環境ガバナンス(1) 座長:除本理史(東京経済大学)

- 1 **初期水質保全政策と地方環境ガバナンス:神奈川県を事例に**  
O 野田浩二(武蔵野大学)  
討論者:喜多川進(山梨大学)
- 2 **環境政策史研究の構想と意義**  
O 喜多川進(山梨大学)  
討論者:除本理史(東京経済大学)

### O3 アジア・途上国—データ分析 座長:藤川清史(名古屋大学)

- 1 **太陽光発電を利用した分散型農村電化事業による受益者満足度の評価—バングラデシュ農村部での事例—**  
O 小松悟(広島大学)・森永茜(産業技術総合研究所中国センター)・金子慎治(広島大学)・Partha Pratim Ghosh(Arc Bangladesh)  
討論者:松岡健之(みずほ情報総研株式会社)
- 2 **産業連関表を用いたベトナムの汚染逃避地仮説に関する一考察**  
O マイ ゴック ゲン(京都大学) 討論者:藤川清史(名古屋大学)

---

9月11日 午後(2) 16:10-18:10

---

**A4 地球温暖化—ポスト2012(3)**  
座長: 明日香壽川(東北大学)

- 1 将来気候変動枠組みにおける途上国の適切な緩和行動に関する考察  
○福田幸司(地球環境戦略研究機関 気候変動グループ)・田村堅太郎(地球環境戦略研究機関 気候変動グループ)  
討論者: 明日香壽川(東北大学)
- 2 国際公共財の視点からの気候変動枠組み条約などの国際環境レジームの検討  
○堀史郎(九州大学)  
討論者: 亀山康子(国立環境研究所)

**B4 企画(4)温室効果ガス排出量削減の経済モデル分析(つづき)**

**C4 企画(5)国内排出量取引の制度設計: 定量分析によるアプローチ(つづき)**

**D4 企画(6) エネルギー自立地域の形成と地域主体形成(つづき)**

**E4 環境評価(3)**  
座長: 松本茂(青山学院大学)

- 1 Social values of information under irreversible decision making  
○石川竜一郎(筑波大学)  
討論者: 松本茂(青山学院大学)
- 2 統合化指標 ELP を応用したライフスタイルアセスメントに関する検討  
○山内崇裕(早稲田大学)・松尾圭一郎(早稲田大学)・椎橋祐介(早稲田大学)・孫美(早稲田大学)・武者英之(早稲田大学)・永井祐二(早稲田大学環境総合研究センター)・小野田弘士(早稲田大学環境総合研究センター)・永田勝也(早稲田大学)  
討論者: 朝倉啓一郎(流通経済大学)

**F4 企画(7) 環境評価チュートリアル: 最新テクニックと分析の実際(つづき)**

**G4 環境資源勘定・環境指標(2)**  
座長: 野上裕生(アジア経済研究所)

- 1 国内製造業における VOC 排出量を考慮した生産性分析  
○藤井秀道(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)・川原博満(環境計画研究所)・金子慎治(広島大学)  
討論者: 中野牧子(名古屋大学)
- 2 MDGs 達成のための森林保全が経済に及ぼす影響の評価  
○高科和史(東京工業大学大学院)・増井利彦(国立環境研究所)  
討論者: 野上裕生(アジア経済研究所)
- 3 「持続可能な発展」の指標による重層的不平等の評価  
○野上裕生(アジア経済研究所)  
討論者: 佐々木健吾(名古屋学院大学)

**H4 廃棄物—処理と費用**  
座長: 斎藤崇(杏林大学)

- 1 生ゴミ処理費用の処理法別の比較と感度分析  
○飯倉ゆり(一橋大学)・山下英俊(一橋大学)  
討論者: 笹尾俊明(岩手大学)
- 2 Study on End-of-Life Vehicle (ELV) population and ELV processors in China  
○胡紓寒(千葉大学)  
討論者: 平岩幸弘(一橋大学)

**I4 企画(8) グローバル時代における東アジアの環境ガバナンス(つづき)**

#### J4 国際資源循環 座長:小島道一(アジア経済研究所)

##### 1 e-waste 貿易に関する経済分析

○南部和香(明治大学)  
討論者:小島道一(アジア経済研究所)

##### 2 金属スクラップの輸出に関する適正管理方策

○寺園淳(国立環境研究所)・吉田綾(国立環境研究所)・鶴田順(海上保安大学校)  
討論者:南部和香(明治大学)

#### K4 地域と環境(1) 座長:梅津千恵子(総合地球環境学研究所)

##### 1 木材フローを対象とするサプライチェーン原価計算モデルの構想 —兵庫県の丹波市森林組合における伐採・搬出を事例として—

○丸山佳久(広島修道大学人間環境学部)・金藤正直(弘前大学人文学部)・緒方秀樹(株式会社 DCMC)・八木裕之(横浜国立大学経営学部)  
討論者:井坂暢也(京都大学)

##### 2 Resilience of Tsunami Affected Households in Coastal Region of Tamil Nadu, India

○梅津千恵子(総合地球環境学研究所)・Thamana Lekprichakul(総合地球環境学研究所)・K. Palanisami(International Water Management Institute (IWMI))・M. Shanthasheela(Tamilnadu Agricultural University)・久米崇(総合地球環境学研究所)  
討論者:白川博章(名古屋大学)

##### 3 下水道事業の水質改善効果に関する経済分析 —多摩川中流域を事例として—

○石橋久紀(一橋大学大学院)  
討論者:野田浩二(武蔵野大学)

#### L4 企画(9)生物多様性の経済学的分析(つづき)

#### M4 環境経済理論—環境と経済成長 座長:鷲田豊明(上智大学)

##### 1 エージェントシミュレーションによる補助金政策の最適実施期間推定

○井元智子(統計数理研究所)・中野慎也(統計数理研究所)・樋口知之(統計数理研究所)  
討論者:鷲田豊明(上智大学)

##### 2 エントロピー経済学の基本構造 —本質から環境政策まで—

○藤堂史明(新潟大学)  
討論者:倉阪秀史(千葉大学)

##### 3 Growth and Voluntary Abatement of Transboundary Pollution in an Overlapping Generations Model

○中川真太郎(下関市立大学)・佐藤真行(京都大学)・山口臨太郎(京都大学・野村総合研究所)  
討論者:中田実(名古屋大学)

#### N4 環境ガバナンス(2) 座長:朴勝俊(京都産業大学)

##### 1 日本と韓国におけるディーゼル自動車排ガス規制の政治経済学

○朴勝俊(京都産業大学)・ホン・ジョンホ(ソウル国立大学)  
討論者:平原隆史(千葉商科大学)

##### 2 長寿企業が地域環境活動に与える影響

○平原隆史(千葉商科大学)  
討論者:松野正太郎(名古屋大学)

##### 3 自然保護ガバナンスの構造とその変容 —世界自然遺産知床の事例から

○藤井康平(東京大学)・藤谷岳(一橋大学)・山川俊和(一橋大学)  
討論者:平原隆史(千葉商科大学)

#### O4 水産資源管理 座長:除本理史(東京経済大学)

##### 1 What Factors Affect the Establishment of Voluntary Fisheries Management? The Case of Pooling Systems in the Management of Sakhalin Surf Clams by Japanese Fishery Cooperatives

井上健(福島大学)・○東田啓作(関西学院大学)・阿部高樹(福島大学)  
討論者:除本理史(東京経済大学)

##### 2 Inefficiency of the behavior of fishers and prices of quotas under an Individual Transferable Quota scheme

○田中健太(東北大学大学院)・東田啓作(関西学院大学)・馬奈木俊介(東北大学大学院)  
討論者:西條辰義(大阪大学)

---

9月12日(日) 午前(1) 9:00-11:00

---

**A5** 企画(10)気候変動:今後の国際協調の行方  
座長:新澤秀則(兵庫県立大学) 討論者:明日香壽川(地球環境戦略研究機関)・  
阪口功(学習院大学)・森晶寿(京都大学)

- 1 Universal regime v Fragmented regime?:コペンハーゲン後の地球温暖化防止の国際ガバナンスの評価  
○高村ゆかり(龍谷大学)
- 2 京都議定書におけるメカニズムの評価と2013年以降について  
○新澤秀則(兵庫県立大学)
- 3 森林等吸収源の取り扱い原則と各種提案の評価  
○橋本征二(国立環境研究所)
- 4 気候変動交渉を巡る中国の国内政治プロセス  
○田村堅太郎(地球環境戦略研究機関)・福田幸司(地球環境戦略研究機関)
- 5 主要国の気候変動政策立案の比較分析:政府内の決定プロセスを中心に  
○亀山康子(国立環境研究所)

**B5** 地球温暖化データ分析(3)  
座長:石井敦(東北大学)

- 1 Industry-level Total-factor Energy Efficiency in Developed Countries  
○本間聡(九州産業大学)・Jin-Li Hu(National Chiao Tung University)  
討論者:石井敦(東北大学)
- 2 科学アセスメントと「客観的」なメディア:日本におけるIPCC報道の言説構造  
○朝山慎一郎(東北大学)・石井敦(東北大学)  
討論者:羅星仁(広島修道大学)

**C5** 企画(11)カーボン・オフセット政策の評価と今後の可能性～森林吸収源・林業・地域活性化～  
座長:諸富徹(京都大学) 討論者:一方井誠治(京都大学)・明日香壽川(東北大学)

- 1 森林吸収源とカーボン・オフセットの可能性  
○小林紀之(日本大学)
- 2 J-ver 制度の仕組み、課題、今後の展開  
○二宮康司(環境省)
- 3 温暖化対策としての森林吸収源の評価と、カーボン・オフセットの活用が林業にもたらすインパクト  
○栗山浩一(京都大学)
- 4 ローカルなカーボン・オフセットの可能性-取引費用の観点から-  
○高橋卓也(滋賀県立大学)

**D5** 温暖化-国内政策(2)  
座長:藤野純一(国立環境研究所)

- 1 わが国における最適な二酸化炭素排出削減経路に関する分析  
○大塚翔太(東京工業大学)・増井利彦(国立環境研究所)  
討論者:藤野純一(国立環境研究所)
- 2 日本の中期的CO2排出削減におけるヘッジング戦略-Act then Learnアプローチを用いたシミュレーション-  
○畠瀬和志(神戸大学)  
討論者:藤野純一(国立環境研究所)
- 3 「緑の贈与」による家庭部門の低炭素機器普及方策  
○松尾雄介(地球環境戦略研究機関)  
討論者:増富裕司(埼玉県環境科学国際センター)



## E5

### 環境評価(4)

座長: 薫祥哲(南山大学)

- 1 **GHK simulator によるクーン・タッカー・モデルへの誤差項の相関の導入**  
○諏訪竜夫(北海道大学公共政策大学院)  
討論者: 柘植隆宏(甲南大学)
- 2 **Kuhn Tucker Model における効用関数の選択と便益値の比較分析**  
○奥山忠裕(運輸政策研究所)  
討論者: 諏訪竜夫(北海道大学)
- 3 **名古屋市農業センターにおけるレクリエーション便益評価: カウントデータに基づく旅行費用法の適用**  
○薫祥哲(南山大学)  
討論者: 佐藤和夫(酪農学園大学)

## F5

### 温暖化－低炭素政策

座長: 日引聡(国立環境研究所)

- 1 **原子力フットプリントと放射能フットプリント**  
○和田喜彦(同志社大学)  
討論者: 中野桂(滋賀大学)
- 2 **韓国の地球温暖化政策と環境ガバナンス－日本との比較を交えて－**  
○Yun, Sun-jin(ソウル大学)・李秀澈(名城大学)・羅星仁(広島修道大学)  
討論者: 金星姫(日本エネルギー経済研究所)

## G5

### 環境マネジメントシステム(1)

座長: 國部克彦(神戸大学)

- 1 **大学における ISO14001 の認証取得の現状と課題**  
○井上尚之(神戸山手大学)  
討論者: 國部克彦(神戸大学)
- 2 **日本企業における環境マネジメントの変遷とインセンティブに関する一考察**  
○井上恵美子(京都大学)  
討論者: 井上尚之(神戸山手大学)

## H5

### リサイクル政策(1)

座長: 外川健一(熊本大学)

- 1 **使用済み蛍光管の限界返却費用の試算**  
○沼田大輔(福島大学)  
討論者: 松本茂(青山学院大学)
- 2 **Waste Separation at Home: Is the Municipal Curbside Recycling Policy Efficient?**  
○松本茂(青山学院大学)  
討論者: 沼田大輔(福島大学)
- 3 **自動車リサイクル法施行後の日本自動車解体業の分析試論**  
○外川健一(熊本大学)  
討論者: 小島道一(アジア経済研究所)

## I5

### 再生可能エネルギー政策(1)

座長: 室田武(同志社大学)

- 1 **再生可能エネルギーは安価なエネルギーになり得るか**  
○石田葉月(福島大学)  
討論者: 東田啓作(関西学院大学)
- 2 **地域エネルギーシステムの変革を通じた CO2 削減による経済効果の推計－愛知県を事例として－**  
○渡邊聡(名古屋大学)・竹内恒夫(名古屋大学)・杉山範子(名古屋大学)・松野正太郎(名古屋大学)・山口工(名古屋大学)・足立典子(名古屋大学)・八木俊信(名古屋大学)  
討論者: 木船久雄(名古屋学院大学)

**J5**      **アジア・途上国(4)**  
**座長:寺西俊一(一橋大学)**

- 1 **中国の水問題解決に向けての流域生態補償の仕組みに関する考察**  
○曹穎(名古屋大学)・井村秀文(名古屋大学)  
討論者:寺西俊一(一橋大学)
- 2 **中国における省エネルギー政策の現状と課題**  
○周夏露(日本エネルギー経済研究所)  
討論者:王磊(北海道大学)

**L5**      **コモンズ(1)**  
**座長:井上真(東京大学)**

- 1 **万人権の変容と法制化—ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの事例—**  
○嶋田大作(日本学術振興会 特別研究員)・齋藤暖生(東京大学)・三俣学(兵庫県立大学)  
討論者:井上真(東京大学)
- 2 **新しいコモンズ再生の試み—豊岡市田結地区でのフィールドワークから**  
○石原広恵(ケンブリッジ大学)  
討論者:嶋田大作(日本学術振興会)

**M5**      **環境経済理論—モデル分析(2)**  
**座長:赤尾健一(早稲田大学)**

- 1 **水資源分析用スカイラインによる日本の水利用構造の時系列分析**  
○福石幸生(慶應義塾大学)  
討論者:長谷川良二(茨城大学)
- 2 **非再生可能資源の価格推移にリサイクルが与える影響についての理論的研究**  
○横尾英史((独)国立環境研究所)  
討論者:新熊隆嘉(関西大学)
- 3 **Environmental policy instruments and foreign ownership**  
○大堀秀一(岐阜聖徳学園大学)  
討論者:赤尾健一(早稲田大学)

**N5**      **環境ガバナンス(3)**  
**座長:宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)**

- 1 **Environmental Treaty Networks Impact on the Global Diffusion of Forest Certification Systems**  
○楊ぎよく(国立環境研究所)・山形与志樹(国立環境研究所)・フローリアン・クラクスナー(国際応用システム分析研究所)・ジョセフガラスクウィッツ(アリゾナ大学)  
討論者:平原隆史(千葉商科大学)
- 2 **環境ガバナンス組織の構築・運用と地方自治体への影響—水源環境保全・再生かながわ県民会議の事例から**  
○宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)  
討論者:野田浩二(武蔵野大学)

**O5**      **生物多様性(1)**  
**座長:林希一郎(名古屋大学)**

- 1 **日本における生物多様性バンクの実現可能性**  
○宮崎正浩(跡見学園女子大学)・荻井まり(立教大学非常勤講師)  
討論者:林希一郎(名古屋大学)
- 2 **里地里山保全のための生態系サービスへの支払い制度の課題**  
○土屋一彬(東京大学)・青柳みどり(国立環境研究所)・武内和彦(東京大学)  
討論者:吉田謙太郎(長崎大学)

---

9月12日(日) 午前(2) 11:10-12:30

---

A6 企画(10) 気候変動:今後の国際協調の行方(つづき)

C6 企画(11) カーボン・オフセット政策の評価と今後の可能性~森林吸収源・林業・地域活性化~(つづき)

D6 温暖化-国内政策(3) 座長:藤野純一(国立環境研究所)

1 コミュニティバス購入に関する自治体の選好分析およびコミュニティバスへの次世代自動車の普及率推計-埼玉県内の自治体を対象とした事例研究-

○増富祐司(埼玉県環境科学国際センター)・脇坂純一(埼玉県環境科学国際センター)  
討論者:伊藤豊(東北大学)

E6 環境評価(5) E会場 座長:薫祥哲(南山大学)

1 企業の環境への取り組みと製品の環境負荷に対する消費者の選好:選択型実験による自動車購入の分析

○伊藤伸幸(神戸大学)・竹内憲司(神戸大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者:柘植隆弘(甲南大学)

2 森林生態系経済評価における調査手法及び仮想シナリオに関する検証

○吉田謙太郎(長崎大学)・松田香穂里(長崎大学)  
討論者:大床太郎(神戸大学)

F6 温暖化-理論・モデル分析 座長:日引聡(国立環境研究所)

1 クリーンエネルギー自動車導入戦略に関する検討

○竹下貴之(東京大学)  
討論者:山本雅資(富山大学)

2 Analyzing a Climate Change Policy Using a Dynamic CGE Model with Endogenous Technological Change: Tax Revenue for Subsidies on R&D Investment

○松本健一(国立環境研究所)  
討論者:武田史郎(関東学園大学)

G6 環境マネジメントシステム(2) 座長:國部克彦(神戸大学)

1 高速道路料金を考慮した最適ガソリン税率

○小林航(千葉商科大学)・片岡拓也(財務省)・矢田晴那(前財務省)  
討論者:朴勝俊(京都産業大学)

2 環境配慮型業績評価手法の展開

○安藤崇(神戸大学大学院経営学研究科)  
討論者:水口剛(高崎経済大学)

H6 リサイクル政策(2) 座長:外川健一(熊本大学)

1 再資源化活動の経済分析-再商品化率基準引上げの効果-

○赤石秀之(法政大学サステナビリティ研究教育機構)  
討論者:松本茂(青山学院大学)

2 台湾の有害廃棄物管理の変遷と現状

○村上(鈴木)理映(国立環境研究所)・小島道一(アジア経済研究所)  
討論者:赤石秀之(法政大学)

I6 再生可能エネルギー政策(2) 座長:室田武(同志社大学)

1 The Willingness to Pay for Alternate-Fueled Vehicles (AFVs)

○板岡健之(みずほ情報総研)・Alan Krupnick(Resources for the Future)・齋藤文(みずほ情報総研)・赤井誠(産業技術総合研究所)  
討論者:竹内憲司(神戸大学)

2 原子力発電依存型温暖化対策の問題点の考証

○氏家英由子(環境エネルギー政策研究所)・飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)・相良敬(環境エネルギー政策研究所)・澤木千尋(ルンド大学)  
討論者:室田武(同志社大学)

- J6**     **アジア・途上国(5)**  
座長:寺西俊一(一橋大学)
- 1     **日本の環境値と公害防止設備投資額との相関分析**  
—アジア途上国に対する公害防止技術支援の意義—  
○吉野敏行(人間環境大学)  
討論者:寺西俊一(一橋大学)

- K6**     **地域と環境(2)**  
座長:大沼あゆみ(慶應義塾大学)
- 1     **市街化制限は環境改善に繋がるか?**  
○岩田和之(東北大学)・馬奈木俊介(東北大学)  
討論者:杉野誠(上智大学)
- 2     **本質的自然資本と持続可能な発展—理論的基礎と課題**  
○籠橋一輝(京都大学)・植田和弘(京都大学)  
討論者:大沼あゆみ(慶應義塾大学)

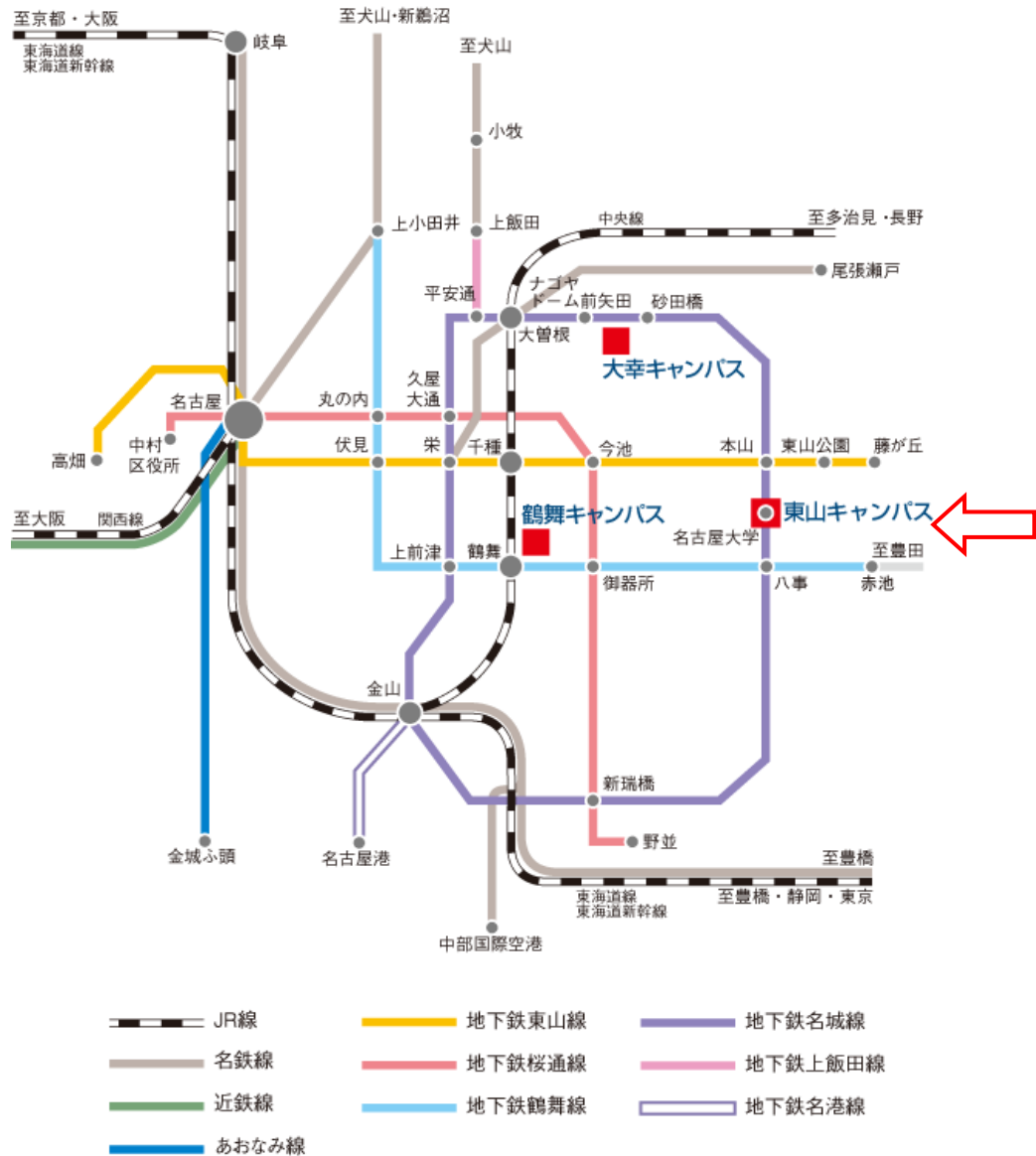
- M6**     **環境経済理論—モデル分析(3)**  
座長:赤尾健一(早稲田大学)
- 1     **Solving the Noah's Ark Problem to Preserve Biodiversity**  
○佐藤公敏(立教大学)  
討論者:赤尾健一(早稲田大学)
- 2     **Emission Taxes and Environmental Technology Transfer**  
○宮岡暁(大阪大学)  
討論者:大堀秀一(岐阜聖徳学園大学)

- N6**     **環境ガバナンス(4)**  
座長:宮永健太郎(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
- 1     **リスク規制行政におけるコントロール:化学物質政策における規制手法の変化**  
○早川有紀(東京大学)  
討論者:喜多川進(山梨大学)
- 2     **持続可能な物質管理のための基本管理方策の類型化と特性化**  
~曝露・被害防止、クローズド化、チェックゲート、情報管理、管理体制の整備~  
○田崎智宏(国立環境研究所)・石塚隆記(イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社)・  
滝上英孝(国立環境研究所)  
討論者:岸本充生(産業技術総合研究所)

- O6**     **生物多様性(2)**  
座長:林希一郎(名古屋大学)
- 1     **英国における種の再導入プロジェクトの考察**  
相良敬(環境エネルギー政策研究所)・○前田雅彦(環境エネルギー政策研究所)・  
飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)  
討論者:林希一郎(名古屋大学)
- 2     **生物多様性政策の有効性評価:PESと生物多様性オフセット**  
○林希一郎(名古屋大学)・日引聡(国立環境研究所)  
討論者:香坂玲(名古屋市立大学)

## 名古屋大学「東山キャンパス」へのアクセス案内

### 鉄道路線図



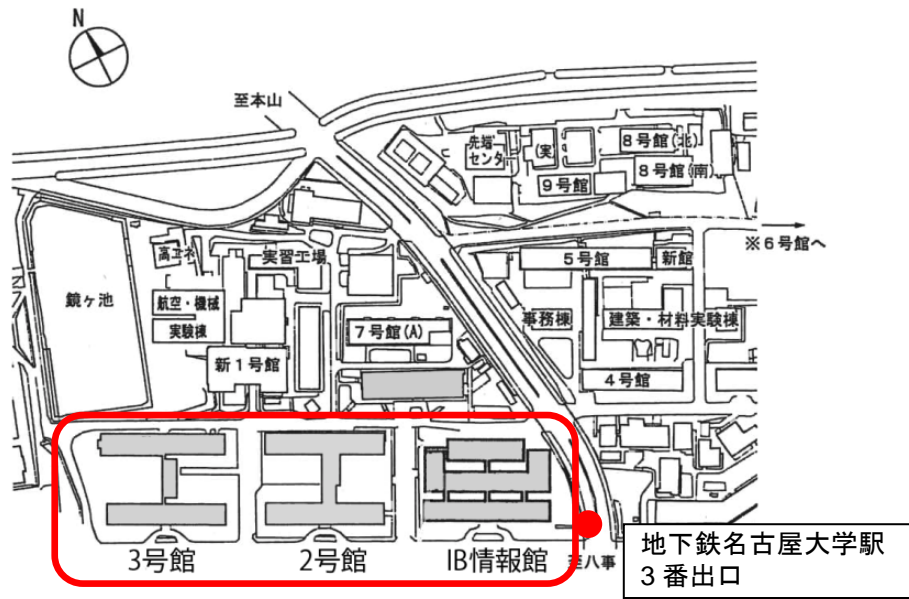
#### 鉄道

- 地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ。
- JR名古屋駅・名鉄新名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合…地下鉄東山線「藤が丘行き」に乗車し、本山駅で地下鉄名城線「右回り」に乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約30分(乗換含。)
- JR金山駅・名鉄金山駅からの場合…地下鉄名城線「左回り」に乗車し、名古屋大学駅下車。所要時間約25分。

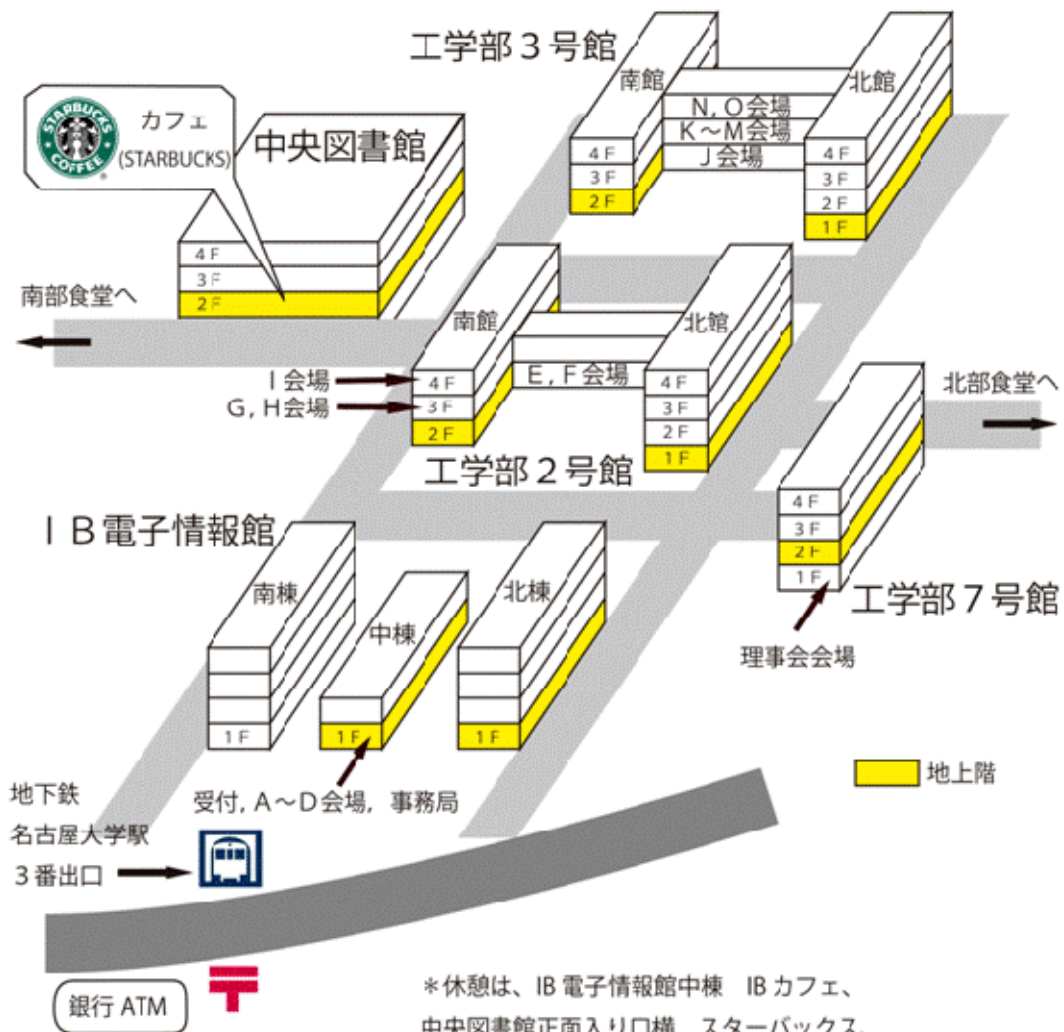
#### 航空機

- 中部国際空港を利用。
- 空港から名鉄特急に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄に乗り換え(上記参照)  
又は、空港バスにて栄または名古屋駅に出て、地下鉄に乗り換え。

# 名古屋大学工学部(9月11日、12日分科会会場)



## 工学部 建物配置図

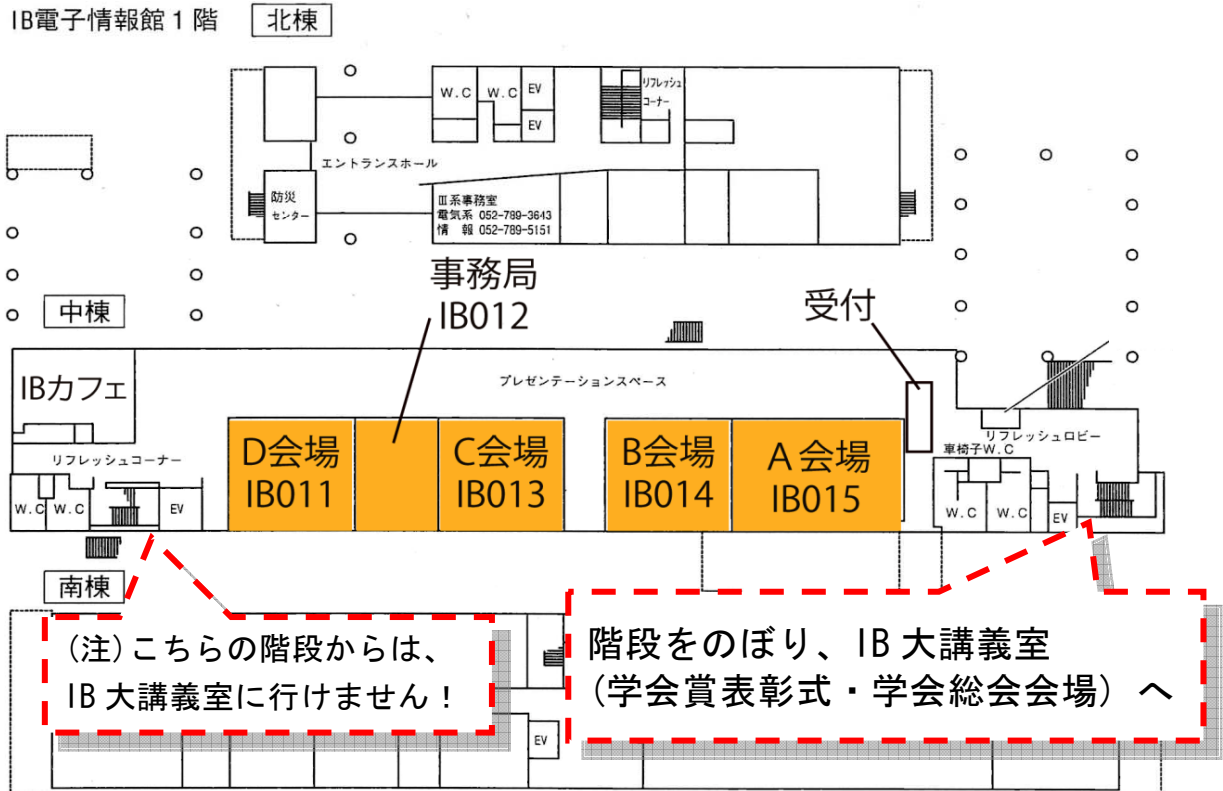


\*休憩は、IB電子情報館中棟 IBカフェ、中央図書館正面入り口横 スターバックス、工学部3号館2階 休憩・控室、をご利用ください

IB電子情報館教室等配置図  
 (受付, A~D会場, 事務局控室)



IB電子情報館 1階

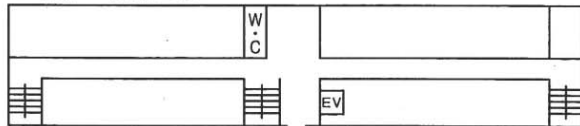


# 工学部 2号館教室等配置図

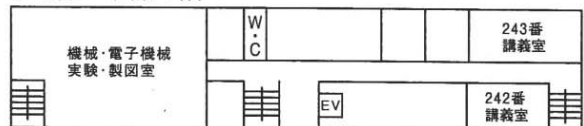
(E~I会場)



2号館：北館 2階



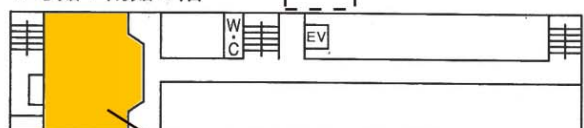
2号館：北館 4階



2号館：南館 2階



2号館：南館 4階



屋上(北館・南館)は3階の廊下で接続

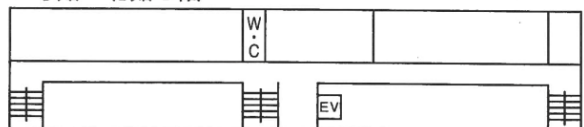
玄関

I会場  
241講義室

2号館：北館 1階



2号館：北館 3階



機械・電子機械・航空図書室

機械・電子機械・航空・マイクロ事務室  
052-789-4419

G会場  
232講義室

2号館：南館 3階



H会場  
231講義室

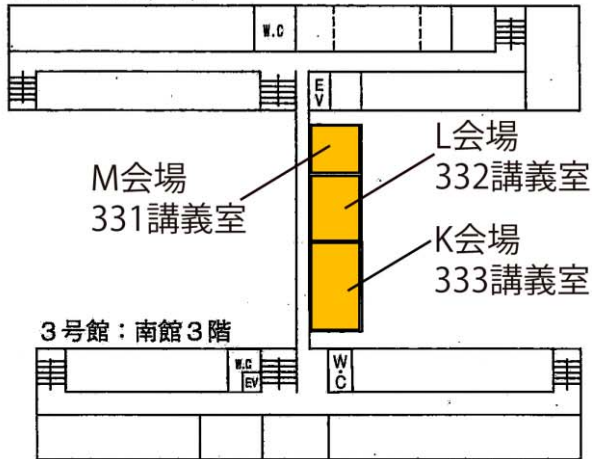


# 工学部 3号館教室等配置図

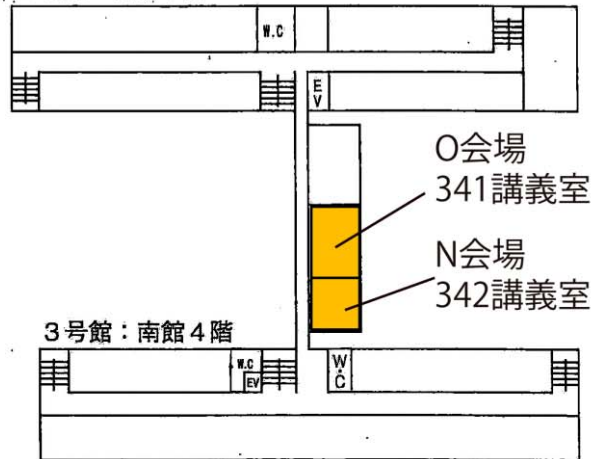
(J~O会場, 休憩・控室)



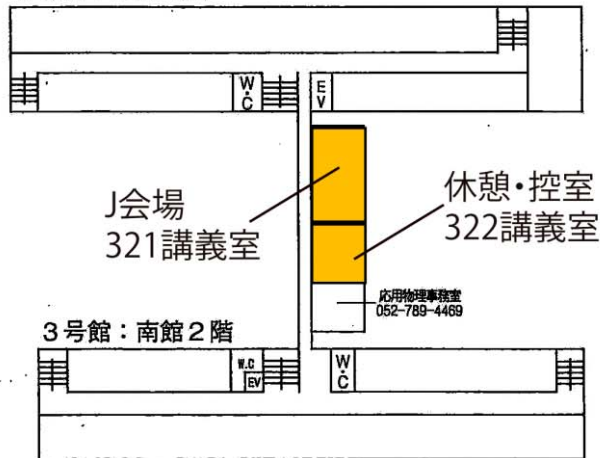
3号館：北館3階



3号館：北館4階



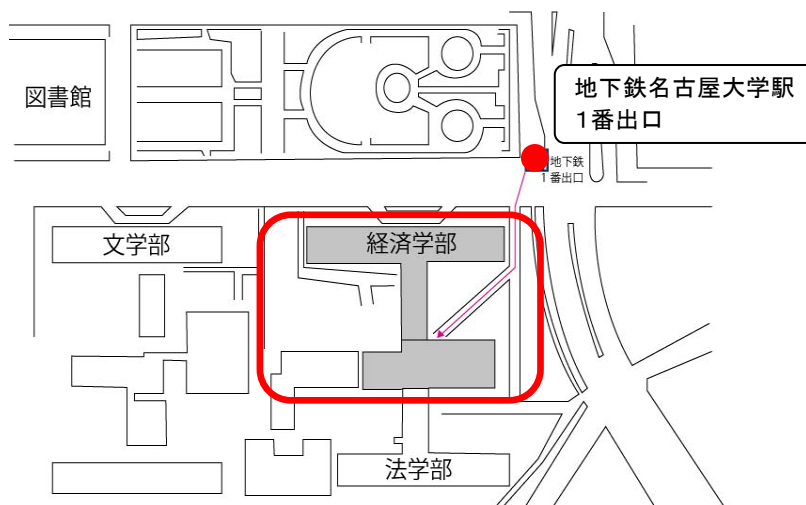
3号館：北館2階



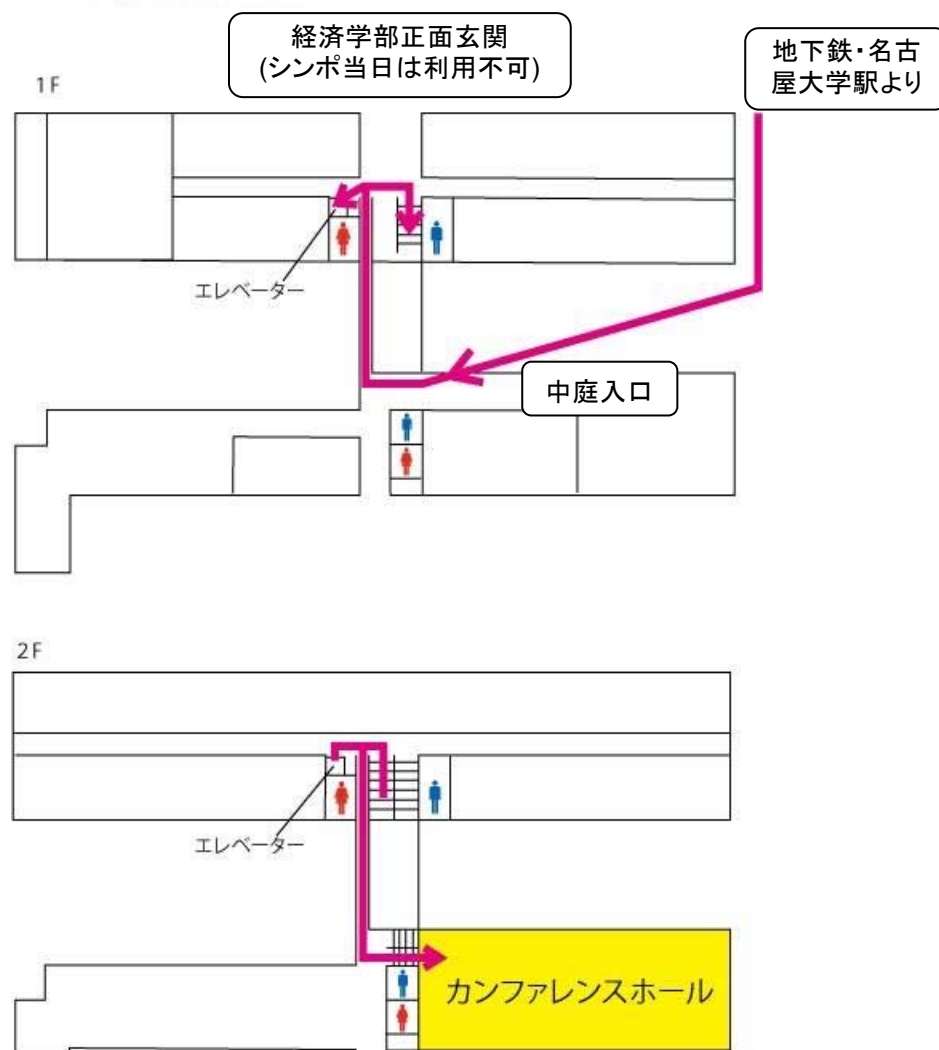
3号館：南館2階

玄関

## 名古屋大学経済学部(9月12日シンポジウム会場)



## 経済学部 平面図



## 裏表紙写真紹介

### 豊田講堂（とよだこうどう）

1960年に榎文彦氏の設計でトヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）の寄付により建設されました。名前はトヨタ自動車の源流となる豊田自動織機の創立者である豊田佐吉にちなんでいるため「とよだこうどう」と濁るのが正しい読み方です。名古屋大学のシンボリック建物で、1993年に名古屋市の「都市景観重要建築物」に指定され、2003年には「日本における DOCOMOMO100 選」(64 番目)に選定されるなど、日本を代表するモダニズム建築の一つとして評価されています。

屋上部には時計台があり、1994年に赤色 LED のイルミネーションが取り付けられましたが、2001年11月からは青色 LED になっています。名古屋大学教授であった赤崎勇氏が青色 LED を開発したことを記念して、その実用化に携わった豊田合成の寄付により取り付けられたものです。



### プログラム委員会

- 一方井 誠治 (京都大学)
- 植田 和弘 (京都大学)
- 大島 堅一 (立命館大学)
- 栗山 浩一 (京都大学)
- 藤川 清史 (名古屋大学)
- ◎松下 和夫 (京都大学)

### 実行委員会

- 荒山 裕行 (名古屋大学)
- 伊東 英幸 (名古屋大学)
- ◎井村 秀文 (名古屋大学)
- 薫 祥哲 (南山大学)
- 櫻井 次郎 (名古屋大学)
- 杉山 範子 (名古屋大学)
- 竹内 恒夫 (名古屋大学)
- 谷川 寛樹 (名古屋大学)
- 中田 実 (名古屋大学)
- 中野 牧子 (名古屋大学)
- 林 希一郎 (名古屋大学)
- 藤川 清史 (名古屋大学)
- 増沢 陽子 (名古屋大学)
- 渡邊 幹彦 (名古屋大学)
- 李 秀澈 (名城大学)

### 大会事務局

名古屋大学大学院環境学研究科内  
環境経済・政策学会 2010 年大会実行委員会  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町